




PHC
GROUP



健康を願う世界の人々のために、
ベストインクラスのプレジジョンとデジタルソリューションで
医療の発展を支え、豊かな社会づくりに貢献します。



PHC GROUP

わたしたちは、たゆみない努力で
健康を願うすべての人々に新たな価値を創造し
豊かな社会づくりに貢献します

PHCグループは、人生においてかけがえのない「ヘルスケア」の分野に、多方面から取り組んでいます。これまで50年以上にわたり、疾病の研究、診断、治療、予防につながる革新的な製品・サービスを提供してまいりました。当社グループは、世界125以上の国と地域で事業を展開し、「ヘルスケアの未来」を見据えた精緻な技術の提供に日々邁進しております。我々は「One PHC」を標榜し、グループ内の事業間連携による新しい発想やシナジーを生かしながら、ヘルスケアジャーニーにおける各タッチポイントで患者さまや医療従事者へ価値をもたらす、豊かな社会づくりに貢献します。

- 糖尿病マネジメント領域：アセンシア ダイアベティスケアは、糖尿病をお持ちの方がご自身の血糖状態をスムーズに把握できるよう、最先端のモニタリング技術を提供しております。現在、当社の血糖値測定（BGM）システムは、世界中で約1,000万人の治療にご利用を頂いています。また、市場が持続血糖測定（CGM）システムへと転換する中、当社はSenseonics社と資本提携し、世界初となる長期皮下埋め込み型CGMをお届けしています。
- ヘルスケアソリューション領域：デジタルの活用で医療業務の効率化を推進し、臨床検査を通じて医療の発展に貢献しています。ウィーメックスは、病院・診療所向け医事コンピューターや、診療所向け電子カルテシステムで国内シェア1位を誇り、また、遠隔医療の支援や医療データを活用した医療DXを推進しています。LSIメディエンスは、検査分析技術を基盤とするがん診断や遺伝子検査などの臨床検査を展開し、メディフォードは、創薬の基礎研究から臨床試験までの幅広い研究開発をサポートしています。
- 診断・ライフサイエンス領域：この領域では疾患の早期発見と治療に貢献しています。エプレディアは研究ラボのワークフローを改善し、より効率的で正確な判断を支援する精密ながん診断ソリューションを提供しています。PHCbiの超低温フリーザーは多くの受賞歴があり、業界を先導する省エネルギー性能で研究ラボの支援を行っています。PHC IVDの高精度な診断試薬やコンパクトなPOCT（簡易迅速検査器）は、医療現場でのリアルタイム検査に貢献しています。

PHCグループは、ヘルスケア分野における潜在ニーズや社会課題の解決に向け、グループ一丸となって、高品質・高精度な製品・サービスの提供に取り組んでまいります。

PHCグループを代表して、当社にご関心をお寄せいただき御礼申し上げます。「ヘルスケアの未来」に向けて当社グループは今後も、革新的で精緻な製品・サービスの提供と社会課題の解決を通じ、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

出口 恭子

代表取締役社長CEO
PHCホールディングス株式会社

出口 恭子



PHCグループのDNA

PHCグループは、プレジジョンとデジタル技術により、人々のより良い健康を支えます。お客様の信頼を得る数々のブランドを基盤とし、革新性と精緻な技術力を強みとします。糖尿病マネジメント、ヘルスケアソリューション、診断・ライフサイエンスにおいてベストインクラスのソリューションを提供し、豊かな社会づくりに貢献しています。

これまで培ってきた起業家精神を発揮し、オープンマインドで粘り強く、たゆまぬ努力を重ね、お客様のニーズにお応えします。また、コンプライアンスを徹底し、誠実に事業活動を遂行することに努め、日々品質向上に取り組んでいます。そのためには、相互に連携しお互いを尊重しあえる環境を築き、そこに透明性が担保されていることが重要であると考えています。

PHCグループは、革新的な製品やサービスをいかに生み出すかを、常に探求しています。今後もイノベーションを通じて新たな価値を創造し、ヘルスケアの未来を切り拓いていきます。

1969

松下寿電子工業株式会社として設立

2010

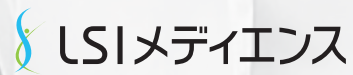
パナソニックヘルスケア株式会社に社名変更

2012

三洋電機株式会社のヘルスケア事業部門をパナソニックヘルスケア株式会社に統合

2014

パナソニックグループよりカーブアウトし、パナソニックヘルスケアホールディングス株式会社として事業開始



2016

Bayer AGより糖尿病
ケア事業を買収・統合
アセンシア ダイア
ベティスケアに
社名変更

2018

パナソニック
ヘルスケアから
PHCにコーポレート
ブランドを変更

2019

Thermo Fisher Scientific,
Inc.より病理事業を買収・
統合
エプレディアに社名変更

2019

株式会社生命科学
インスティテュート
から株式会社LSI
メディエンスの
全株式を取得

2021

PHCホールディングス
株式会社が東京証券
取引所 市場第一部へ
上場*

*2021年10月14日に新規上場
(証券コード 6523 東証プライム)

2023

PHCホールディングス
株式会社傘下にて
ウィーメックス株式会社*
が事業開始

*PHC株式会社メディコム事業部
とPHCメディコム株式会社を統合

PHCホールディングス
株式会社傘下にて
メディフォード株式会社*
が事業開始

*株式会社LSIメディエンス治験
事業の吸収分割による株式会社
LSIM安全科学研究所 (LSSI) への
承継、PHCホールディングス株式
会社によるLSSIの子会社化



PHCグループの グローバルネットワーク

PHCグループは、世界各地に拠点を置き、125以上の国と地域で事業を展開しています。ステークホルダーの皆さまの声にしっかりと耳を傾け、医療従事者や研究者、患者の皆さまに新たな価値をお届けできるよう努めています。

PHCホールディングス株式会社
〒100-8403 東京都千代田区有楽町1丁目13番2号
第一生命日比谷ファースト15F

主なグループ企業:

PHC株式会社
〒100-8403 東京都千代田区有楽町1丁目13番2号
第一生命日比谷ファースト15F

アセンシア ダイアベティスケアホールディングス
Peter Merian-Strasse 90, 4052 Basel,
Switzerland

エプレディアホールディングス
20 Post Road, Portsmouth NH, 03801 USA

株式会社LSIメディエンス
〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号
シーバンス S 館8F

ウィーメックス株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目25番18号 NBF渋谷
ガーデンフロント14F

メディフォード株式会社
〒174-0053 東京都板橋区清水町36 番1号



■ PHCグループ拠点



アジア + オセアニア

オーストラリア	日本	インド
インドネシア	台湾	マレーシア
シンガポール	香港	フィリピン
中国	韓国	

ヨーロッパ

オーストリア	イタリア	イギリス
ハンガリー	スウェーデン	ドイツ
ロシア	フィンランド	ポーランド
ベルギー	オランダ	ギリシャ
アイルランド	スイス	ポルトガル
スペイン	フランス	
デンマーク	ノルウェー	

中東 + アフリカ

アルジェリア	UAE	トルコ
--------	-----	-----

南北アメリカ

アメリカ合衆国	メキシコ	カナダ
---------	------	-----

* 一部の製品やサービスは、国によって提供されていない可能性があります



シナジーによる グループの強さ



グローバルな医療課題に取り組み、イノベーションを通じた新たな価値の創造を目指し、PHCグループの各事業は個々に、そして協力し合いながら研究から、診断・治療、検査・予防まで幅広い分野の進展を支えています。



糖尿病マネジメント

高精度な血糖値測定 (BGM) システムや持続血糖測定 (CGM) システム、シームレスなデータ連携、デジタル糖尿病管理ソリューションにより、糖尿病患者さまのQOL (生活の質) 向上に貢献します。

ヘルスケアソリューション

医療ITから臨床検査、創薬支援サービスまで、幅広くサービス・ソリューションを提供することで、患者さまや医療従事者の皆さまを支援するヘルスケアサービスの充実を目指します。

診断・ライフサイエンス

がんをはじめとした疾病のよりの確な診断を実現する高精度で包括的なソリューションを提供しています。新しい治療法や新薬の開発を目指した先駆的なライフサイエンス研究を支援する製品を通じ、患者さまの生活を支え、より健康な社会づくりに貢献します。





糖尿病管理における先進的な技術で、 患者さまのより快適な生活をサポート

アセンシア ダイアベティスケアは、糖尿病を持つ患者さまが抱える生活の難しさについて理解を深めてきました。私たちの製品をご利用になる患者さまのニーズに応え、精度の高い測定機器や患者さまの病状にあわせたソリューションを開発するなど、改善を重ねることで、患者さまの糖尿病管理を支えています。

糖尿病の発症増加に伴い、早期の診断と可能な限りの予防と効果的な治療の重要性がますます高まっています。患者さまや医療従事者を高精度な測定機器で支え、より効率的な病状管理と患者さまの生活の質向上に貢献します。



持続血糖測定システム

業界初で唯一の完全埋め込み型 CGM

持続血糖測定(CGM)システムは、患者さまの皮下に挿入した光学式センサで、血糖を自動的に測定できます。CGMの測定データから血糖値の変動を予測でき、患者さま自身が血糖傾向を確認できるため、糖尿病の適切な管理をサポートします。

長期間の装着が可能

Eversense® E3 CGMシステム*1は、最長6か月*2にわたって装着できる業界初で唯一の埋め込み型光学式センサを採用しています。頻繁にセンサを挿入する手間と、挿入部位をケアする負担を軽減します。

柔軟な装着性

センサの上に装着したワイヤレス送信機から、血糖値データが患者さまのスマートデバイスに転送されます。また、生活シーン*3に合わせて送信機を簡単に着脱できます。

信頼できる精度

最長6か月にわたって高精度で安定的に測定でき、患者さまは、低血糖の時でも安心してお使いいただけます。

*1 アセンシアは、Senseonics社が開発するEversense® CGMシステムのグローバル独占販売権を取得しています。

*2 Eversense® E3 CGMシステムは、糖尿病を持つ18歳以上の患者さまの血糖値を最長180日間継続的に測定できます。本システムは、指の穿刺による血糖値(グルコース)測定の代替として使用できます。なお、症状がCGMの測定情報と一致しない場合又はテトラサイクリン系薬剤を服用時、及びセンサを挿入して21日目以降は1日1回のキャリブレーション(測定値の校正)が必要となります。センサの挿入および取り外し施術は、医療従事者が行います。Eversense® E3 CGMシステムは、医師が処方する医療機器です。詳細は、かかりつけの医師にご相談ください。Eversense® E3 CGMシステムは現在、米国および一部の欧州市場で利用可能です。

*3 ワイヤレス送信機を装着していない時は、血糖値データは生成されません。



血糖値測定システム

迅速で高い精度のモニタリング

私たちの血糖値測定(BGM)システムは、その極めて高い精度*4と利便性で、患者さまが血糖値測定を日々の生活に効果的に取り入れ、ご自身の状態を把握しやすくなるようサポートします。これからも、患者さまが快適に過ごせるよう、新製品・機能の開発に取り組んでいきます。

高精度な測定結果

先進的な自社技術により、リアルタイム測定を実現。

卓越した技術

優れたモノづくり技術による高品質な製品。

グローバル展開

100か国以上で製品を販売し、約1000万人の患者さまに提供。

糖尿病管理アプリケーション

ワイヤレス通信及びケーブル接続でデータ連携する糖尿病管理ソリューションを実現

データ連携

ワイヤレス対応の血糖自己測定システム*5と連携し、糖尿病アプリケーションとデジタルソリューションで血糖値を読み取ります。

データ解析の向上

測定値の収集と保存、表示、分析により血糖値変動のトレンドを明らかにし、データから示唆を導き患者さまをサポートします。

データ駆動型機能

患者さまの健康に影響する血糖値の変動パターンを特定し、簡単に実践できるお役立ちアドバイスを行います。

クラウド活用

複数のデバイス間でデータを同期し、血糖値データ及びレポートを安全に保存するほか、医療従事者との共有が可能です。AndroidとiOSデバイスでアプリケーションをダウンロードでき、その他にはオンラインやパートナー企業を通じて利用できるソリューションもあります。

*4 具体的な精度については、BGM製品のユーザーガイドをご覧ください。

*5 海外向けの製品。

Eversense、Eversense E3 CGMおよびEversense ロゴは、Senseonics社の商標です。Ascensia およびAscensia Diabetes Careのロゴは、Ascensia Diabetes Care Holdingsの商標及び/又は登録商標です。その他の商標は、各所有者の知的資産であり、情報提供のみを目的として使用されています。いかなる関連又は推奨を示唆・暗示しているものではありません。



LSIメディエンス

未来のヘルスケアを
切り拓くために、確かな分析技術で
研究者や医療機関の
皆さまをサポート

LSIメディエンスは、国内市場を中心にメディカルとサイエンスを融合したヘルスケアサービスを提供しています。検査分析技術を基盤とするがん診断や遺伝子検査などの臨床検査サービスを通じて、病気の予防、早期発見、効果的な治療の実現に向けて努めています。私たちはメディカルサイエンスの力によって健康で安心な社会の創造に貢献します。

私たちの最大の強みは「分析力」です。蓄積された膨大な検査データを解析し、検査結果を提供するだけでなく、そのデータが意味する「病状」や「薬効」を読み解き、医師や研究者の皆さまに提案します。こうした取り組みを通じて、より迅速で的確な診断や、検査業務の最適化に貢献します。



ドーピング検査

最新の機器と先進的な分析方法を用いてドーピング検査における検体分析を実施

私たちのアンチドーピングラボラトリーは1985年に、検査分析機関としてアジアで初めて国際オリンピック委員会 (IOC) から認証されました。1999年の世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) 設立以来、私たちは国内唯一のWADA認定機関であるWADA東京ラボラトリーとしてグローバルなアンチ・ドーピング活動を推進し、スポーツの健全な発展に貢献しています。



臨床検査

病気の予防や早期発見に向けた多様な検査を提供し、医療機関をサポート

LSIメディエンスの臨床検査事業は、国内で業界トップクラスの規模を誇ります。私たちが構築したラボオートメーション・システムは、“より正確に、より迅速に”という高度な臨床検査ニーズに対応する様々なサービスを提供しています。

多様な検査ポートフォリオ

生化学、血液学、免疫学、生物学、遺伝子学を含む4,000種類以上の多種多様な検査項目

大規模なプラットフォーム

全国に営業拠点網を有し、長年にわたる実績により大学病院からクリニックまで病院全般、行政機関等のお客さまとの強固な信頼関係

高品質な検査

米国臨床病理医協会 (CAP) の認定を取得維持 (2024年7月27日現在)

先進的な取り組み

遺伝子解析・質量分析における高い技術力



医療従事者の負担軽減と 業務効率化により 医療サービスの質の向上に貢献

1972年に日本初の医事コンピューターを発売して以来、私たちは医療ITや先進的なデジタルソリューションを通じて医療や福祉に貢献し、皆さまの健康を支えてきました。ウィーメックスは、これまで培ってきた経験と知識を活かし、さらに医療DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進することで、全国の診療所や病院、薬局の皆さまに最先端の医療ITソリューションを提供します。

地域医療連携におけるデジタル化の進展およびクラウドやAIを活用した医療の質の向上に伴い、医療ITへのニーズは高まっています。医療分野の様々な課題を解決するために、私たちは患者・医師・薬剤師の皆さまを繋げる地域医療連携のソリューションを展開し、次世代医療のプラットフォームになることを目指します。

また、2023年10月に、富士フイルムヘルスケアシステムズ株式会社より電子カルテ・レセプト関連事業を継承し、ウィーメックスヘルスケアシステムズが誕生しました。レセプトチェックサービスで高い市場プレゼンスを持つウィーメックスヘルスケアシステムズの強固な顧客基盤を通じて、医療IT業界をさらにリードしてまいります。



Well'sPort Step

指導者と対象者の双方を支援し、特定保健指導の成果につながるシステム

初回面談から請求データの作成まで、保健指導の管理業務にかかる工数を短縮でき、継続的な健康づくりと疾病予防を支援する効果的なコミュニケーションをサポートします。

健康診断サポート

企業・健康保険組合の業務負担を軽減する健診事務代行サービス

健康診断の運用設計から、申込手続き、結果回収まで、最適な健診の提案および事務処理を一括で代行。全国約2,900を超える健診機関・医療機関と提携しています。



直感的な操作性と視認性に優れた診療所向けの電子カルテシステム

医事コンピューター（レセコン）と一体型である本システムは、カルテ入力の段階からミスを防止します。お薬や病名の検索履歴を学習して候補を予測して表示することで、効率的な操作を支援します。また、クラウド技術により、ノートPCやタブレットのブラウザで、どこでもすぐにカルテ情報を閲覧できます。



迅速なデータ共有で医療スタッフ間の円滑なコミュニケーションを推進する病院向けの電子カルテシステム

オンプレミス型・クラウド型双方の機能が選択できるだけでなく、シンプルな操作性と充実したサポート体制を通じて、一般・療養型中小規模病院における医療DXを支援します。また、院内外の協力体制を築き、法人グループ内の施設間連携の強化のみならず、地域包括ケアへの寄与にもつながります。



デジタルの高速処理で、請求業務を効率化するレセプト院内審査支援システム

あらかじめ設定した指定条件でレセプト電算ファイルのチェックから結果出力まで自動で行い、目視にかかる手間と時間を軽減します。添削・エラー内容を見やすく表示し、より重点的にチェックすべき項目の見える化と、システムや業務の改善に役立ちます。

*ウィーメックスヘルスケアシステムズ株式会社の製品です



薬歴情報をスムーズに確認でき、訪問診療時の患者さまとのコミュニケーションを支援する電子薬歴システム

必要な薬歴情報を一画面で表示し、処方監査や薬歴の効率的な作成を支援します。在宅や訪問診療時も、薬局内と同じデータベースで薬歴参照や入力ができるため、薬剤師の皆さまの柔軟な働き方に対応します。

歯科向けシステム



手書きカルテの自由さと使い勝手を再現し、業務ストレスの軽減に貢献する歯科医院向け電子カルテシステム

使用者や使用シーンに合わせて任意の端末で使用できます。改定情報、プログラム更新などを起動時にお知らせするインフォメーションウィンドウを設置し、より迅速・確実にお客様へ情報をお届けします。

*ウィーメックスヘルスケアシステムズ株式会社の製品です。



モダリティに応じた評価方法で、 研究開発の各ステージに対応した 分析技術でサポート

豊富な受託実績と経験で培われた試験の信頼性と高い分析を掛け合わせ、創薬の探索フェーズを含む基礎研究から臨床試験までの研究開発を支援します。

非臨床試験の信頼性を確保するGLP^{*1}に適合した受託試験機関として、医薬品や再生医療等製品などにおける非臨床試験受託サービスを行っています。また、バイオマーカーや薬物の濃度測定など高度な分析技術を有するバイオアナリシスサービスと、臨床試験での検査にかかわる一連のプロセスをお届けするセントラルラボサービスを提供します。

研究開発の各ステージに対応した分析技術と国内外の製薬企業・分析ラボラトリー向けサービスを通じて、多様化する新規治療法(モダリティ)の発展に貢献します。

*1 GLP : Good Laboratory Practice



非臨床試験受託サービス

最先端の分析技術やGLPなどの信頼性基準に適合した施設により、
医薬品開発と化学品分析の多彩な試験に対応

製薬・食品等の民間企業をはじめ、官公庁やアカデミア向けに、医薬品、再生医療等製品、医療機器、農薬、化学物質、化粧品などの基礎研究から安全性、薬効薬理、及び薬物動態に対応する試験メニュー、臨床フェーズへの移行・規制当局手続きまでトータルにサポートします。患者さまの生体内により近いPDX/PDC^{*2}などの独自の創薬支援技術を通じて、革新的な医薬品の開発をサポートします。

*2 PDX : ヒトのがん組織を免疫不全マウスに移植した組織片
PDC : 患者由来の細胞株



バイオアナリシスサービス

多様化するモダリティに対応した幅広い分析手法で、
研究・開発を支援

生体試料中の薬物やその代謝物、バイオマーカー等の分析法開発から分析法バリデーション、実検体の測定を実施します。細胞特性の解析や遺伝子解析、組織的な空間解析を含む多様な手法を取り入れ、新規モダリティの研究・開発における各フェーズに合わせた分析サービスを提供します。また、治験や臨床試験で採取した貴重な生体試料を将来の活用のために長期保管します。



セントラルラボサービス

臨床研究における検査を一括で行うことで、検査方法や
基準値を統一し効率的な解析を実現

全国の医療機関で実施される臨床研究(治験・臨床試験)の検体回収から一括検査まで、一連のプロセスをサポートします。検体ごとに最適な環境で保管し、世界水準の高度な検査技術で、高品質の検査データを正確かつ迅速に提供します。海外ラボのネットワークを通じて国際共同治験にも寄与するなど、医薬品開発のグローバル化にも対応します。





迅速かつ的確な病理検査による精度の高いがん診断を実現

エプレディアは、病理用機器、スライドガラス、染色液など包括的な病理ソリューションの提供を通じて、検体採取から診断までのワークフローを効率化し、より安全で迅速かつ的確ながん診断を可能にします。高品質で豊富な製品ラインアップで、医療機関や研究施設で働く病理医や研究者の皆さまのニーズに応え、患者さまがより豊かな毎日を送れるようサポートしています。

がん患者数の増加に伴い、早期の診断検査の重要性が高まっています。「病理医の皆さまに革新的かつ精度の高いがん診断を実現していただくことにより、人々の生活を豊かにする」という、私たち従業員の想いが、開発した製品に反映されています。

検体前処理フェーズの消耗品

作業フロー改善と病理検査室が抱える品質課題を克服する優れた技術と高品質のソリューション

業界で重要とされる高品質・高精度・高付加価値を兼ね備えたソリューションで、臨床検査環境の標準化を実現します。



スライドガラス

私たちのスライドガラスは、光学的に最高レベルの透明度を実現し、よりの確な診断を可能にします。



細胞診染色

私たちの細胞診染色は、透明度が高く、使いやすさや費用対効果の高さにおいても定評があります。Cyto-Stain™ (サイトステイン)*は、一般的な細胞診染色で使われる全ての色に対応し、あらゆる現場のニーズにお応えします。

*海外向けの製品



デジタルパソロジー

病理検査の現在と未来に貢献

病理検査室では病理医が減少する中、がん診断の件数は増加しているという、課題に直面しています。そのため、病理検査用スライドガラスのデジタル化など、病理医の業務効率を高めるテクノロジーの活用が求められています。

エプレディアは、3DHISTECH™とのパートナーシップを通じて、高い解像度と処理能力で細部を撮像するホールスライドスキャナーから、研究所や業界を問わず連携できるソフトウェアシステム、試料の保存を可能にする自動化した組織マイクロアレイまで、数々の受賞歴を有するデジタルパソロジーソリューションを提供しています。

エプレディアは、Aiforia™やPaige Diagnostics™と協業し、人工知能(AI)の解析技術を活用した画像取り込みなど、デジタルパソロジーの様々なソリューションを提供します。AiforiaとPaigeの革新的な製品で、がん診断のワークフローを効率化するAIツールをお客様を支援します。



自動包埋装置 (ティッシュプロセッサ)

迅速で正確な診断を支援

自動包埋装置は、簡便な病理検査を可能とする高品質な組織処理を安定的に短時間でを行います。実証済みのプロトコールと有効性が立証された専用の消耗品は、病理医の使い勝手を向上させ、組織の連続処理における一貫性を強化します。また、傾斜チャンバーと特許取得済みの流体交換技術で、組織の品質を損うことなく迅速に処理できます。



業界をリードする高い技術と品質で、 医療現場やライフサイエンス研究 をサポート

1966年に薬用保冷庫を開発、販売して以来、私たちは製品ラインアップを拡充し、ライフサイエンス領域では、試料の長期保存や安定した細胞培養に欠かせない研究支援機器を、また、薬局での調剤業務や病院の給食分野では、調剤過誤の発生リスク低減や適温給食に役立つソリューションを提供しています。

また、再生医療、細胞医薬、抗体医薬などの画期的な治療法(モダリティ)の研究開発が進む中、私たちは、細胞遺伝子治療の早期普及に向けて治療製造プロセスのQCD(品質、コスト、納期)課題を解決する新たなソリューション開発に取り組んでいます。

長年培った高い技術と品質にこだわったモノづくりで業界をリードするとともに、最先端のライフサイエンス研究と次世代医療の発展を支え、健康で豊かな社会づくりに貢献します。



ライブセル代謝分析装置「LiCellMo」*1

細胞代謝物の連続測定によって、がん免疫や幹細胞などの研究を支援し、製剤化に向けた製造プロセス構築に貢献

独自の培地In-Lineモニタリング技術を活用し、細胞代謝物の濃度を連続的に測定することで、リアルタイムに細胞の状態を可視化します。従来手法では得られなかった新たな知見の獲得のみならず、細胞遺伝子治療に用いる治療用細胞の製造品質向上やコスト削減への貢献が期待できます。

*1 2024年度上市予定



自動錠剤包装機

調剤過誤の低減と薬剤師の皆さまの業務プロセスを効率化

患者さまの処方箋に基づき、必要な薬剤を自動的にカウント、払出し、一包化します。調剤過誤の低減による患者さまの安全確保はもちろんのこと、業務プロセスの効率化に寄与するため、薬剤師の皆さまがより多くの時間を患者さまへの服薬指導などの医療サービスに充てることを可能にします。



適温配膳車「デリカート」

パワーアシスト走行とシンプルなタッチパネルにより、抜群の使いやすさを実現

やさしさと先進性を兼ね揃えたデザインの配膳車「デリカート」は、温かい食事と冷たい食事を同時に運ぶことができます。基本的な操作と便利な機能の操作はタッチパネルから簡単に行えます。



ノンフロン薬用保冷庫 ・薬用冷蔵ショーケース

正確な温度制御技術で医薬品の品質低下を防止、優れた省エネ性能で温室効果ガス削減にも寄与

自然冷媒とインバーター制御コンプレッサーの採用により消費電力量を低減することで、地球環境負荷低減とランニングコスト削減に貢献します。また、庫内の温度分布の均一化を高め、より安定した保冷環境の下、医薬品や試料の品質を長期的に維持します。



ノンフロン超低温フリーザー

業界トップクラス*2の省エネ性能で地球環境負荷低減に貢献、高いユーザビリティで研究を支援

エネルギー効率が非常に高い自然冷媒と独自の二元冷凍インバーター制御技術の活用により、他社を凌駕する省エネ性能を実現しました。また、大型カラー液晶タッチパネルなど、お客様さまの使い勝手に配慮した機能を搭載しています。

*2 ENERGY STAR 認証取得



CO₂ インキュベーター

優れた制御技術と独自の汚染防止機能で最適な培養環境を維持し、細胞の培養効率と再現性を向上

過酸化水素 (H₂O₂) 除染や乾熱滅菌など多様な機能を取り揃え、研究者の様々なニーズに対応します。銅合金ステンレスやUV照射による汚染防止機能と清掃性に優れた器内構造で、効率的で生産性の高い研究をサポートします。



クラウド型リモートモニタリングシステム

機器の稼働状況を離れた場所からリアルタイムで一元管理、保存物の品質確保とモニタリング業務を効率化

機器の庫内温度やCO₂濃度の変化など重要なデータをクラウド上に保存します。モバイル端末やPCから、リアルタイムで複数の機器の稼働状況を把握でき、厳格な管理を必要とする医薬品のトレーサビリティを強化します。



高精度な医療機器と、 診断薬の提供を通じて、 医療の発展に寄与

1962年に日本初の臨床検査薬、1991年に業界初の電気化学式自動吸引型血糖値測定システムを開発するなど、長年にわたって医療機器と体外診断薬を提供するトップランナーとして医療の発展に貢献しています。私たちは、卓越した開発力・モノづくり技術による高精度・高信頼性・高付加価値の製品開発を実現し、お客様の声(意見や要望)に基づいた製品を提供します。

また、協業するパートナーの皆さまと共に、様々な疾患の早期発見と効果的な治療を支える医療機器をお届けすることで、より良い医療の実現に寄与してまいります。



診断薬

高度な検査性能を持つ試薬を展開

血液凝固・線溶分野をはじめ、血液中の成分を測定する体外診断用医薬品(診断薬)を幅広く展開しています。自社装置専用の試薬や、他社の自動分析装置に対応する汎用試薬の他に、インフルエンザウイルス、新型コロナウイルスなどを検出できるイムノクロマト試薬を通じて迅速で簡便な検査に貢献しています。



診断機器

精度・信頼性の高い検査データを提供

心疾患や敗血症、性腺関連マーカーなどの分析に使用される移動式免疫発光測定装置は、高感度で迅速な測定を実現します。合成基質法、凝固時間法、ラテックス凝集法を一台で測定するコンパクト設計の全自動血液凝固検査システムや、化学発光酵素免疫測定法を用いる全自動臨床検査システムも展開し、救急病棟から大規模な中央検査室まで多様なニーズにお応えします。

パートナーシップ

卓越した技術力で
パートナーをサポート



血糖自己測定システム
納入先: アークレイ株式会社



採血用穿刺器具/専用採血針
納入先: 株式会社三和化学研究所



病院/診療所用血糖値測定システム
納入先: 株式会社三和化学研究所



POC生化学分析装置
※HbA1c、脂質およびCRPを測定
納入先: ロシュ・ダイアグノスティックス社



呼気一酸化窒素測定装置
納入先: NIOX社



電動式医薬品注入器
納入先: JCRファーマ株式会社



電動式医薬品注入器
納入先: ファイザー社



電動式医薬品注入器
納入先: 帝人ファーマ株式会社





サステナビリティへの取り組み PHCグループは豊かな社会づくりに貢献します

PHCグループは、優先的に取り組むべき11の重要課題(マテリアリティ*)を特定し、グループ一丸となって、サステナビリティに取り組んでまいります

環境

PHCグループは、企業が事業活動を展開する上で環境への配慮を行うことは企業の責務であるという認識のもと、持続可能な環境を実現するために、国内外の製造拠点でISO14001認証を取得し、エネルギーの効率的な利用や環境に配慮した製品開発を含む、様々な施策を通じて環境負荷低減に努める等、地球環境保全活動に取り組んでいます。特に「気候変動への取り組み」「省資源化による環境への配慮」「サーキュラーエコノミー社会の推進」を、取り組むべき重要なマテリアリティと捉え、重点的に取り組みを行ってまいります。

社会

我々はヘルスケアイノベーションの創出を通じて新しい価値を創造するとともに、ヘルスケア業界において人々の健康に直接携わることの重大性を認識し、製品の安全性及び品質への責任を果たすことが最重要と考えています。高品質・最先端の製品をご使用いただき、新規治療法の開発等を通じて、医療の質の向上に貢献します。また、新興国・途上国での拡販を通じ、より多くの方々に医療や医薬品を届けることができるようになり、医療アクセスの改善にも繋がると考えています。

ガバナンス

経営の透明性、公平性、迅速性を確保し、持続的な企業成長と恒常的な企業価値向上を果たすためにもコーポレート・ガバナンスが重要であると考えております。経営における執行と監督の明確化・強化もその一つであり、企業経営の迅速な執行のため、執行役員制の導入とともに、取締役会による監督と監査役による適法性監査の二面での複層的な監督機能を有する監査役会設置会社を選択しております。また、経営の健全性・効率性及び透明性を確保し、持続的に企業価値を向上させていく観点からも、適切なコーポレート・ガバナンスの構築やその実施に取り組んでいます。

* <https://www.phchd.com/jp/sustainability/materiality>





PHC GROUP

PHCグループは、健康を願う世界の人々のために、
ベストインクラスのプレジジョンとデジタルソリューションで
医療の発展を支え、豊かな社会づくりに貢献します。





PHC
GROUP

詳しくはホームページをご覧ください
phcd.com



2024年4月発行